

平和の俳句

大いなるいのちのなかや冬銀河

野崎 憲子(62) 香川県さぬき市

「金子兜太」宇宙は大きな命だ。そのなかに殊に芽え
て見える銀河系に私たちはいる。平和に生きたい。憲
法九条の下に暮らしたい。

2016.1.9 中日新聞130年

山林などに獣の足跡



ニホンオオカミの複製 2000
3年12月、和歌山県海南市で

110年前に絶滅したとされるニホンオオカミだが、その生存を信じ、調査を続けている民間グループ「ニホンオオカミ倶楽部」(東京)が、新たに三重県松阪市の山中で調査を開始することが分かった。メンバーの石田哲郎さん(70)は「わずかだが、期待を持っている」とロマンを追いかける。(松阪支局・大沢悠、吉野淳一)

早大探検部OBら調査へ



ニホンオオカミは本州、四国、九州に生息していた小型のオオカミ。一九〇五年を最後に捕獲例はなく、環境省のレッドリストで絶滅種に選定されているが、各地で目撃情報絶えな
い。倶楽部は早稲田大探検部OBが五年前に設立。目撃情報があった山梨、埼玉
県などにまたがる秩父地域で二〇一〇年二月からカメ

ラを設置するなどし、生き
た姿を追いかけている。
今回、調査対象とするの
は松阪市飯高、飯南両町の
山中。飯高町に住むデザイ
ナー野田孝敏さん(五)が自
宅近くの山林や飯南町の谷
沿いで、四年ほど前から獣
に襲われたシカの死骸やイ
ヌのような足跡を発見。昨
年十二月四日にも新たな死
骸を見つけた。知人の石田
さんにこれまでに撮影した
死骸の写真を送るなどし
て、調査を依頼した。
死骸は鼻先や腹、尻など
を食われていたが「イヌ科
の動物しかあり得ない襲
方。地元で野犬はいないと
聞いている」と石田さん。
ニホンオオカミが最後に捕

獲されたのは飯高町に隣接
する奈良県東吉野村という
こともあり、生存可能性が
あると判断した。
両町ではまず十、十一の
両日、倶楽部のメンバーら
と野田さんの計六人が山中
に入り、野田さんが死骸を
見つけた現場などを調べ
る。状況次第では今後、カ
メラの設置なども検討す
る。石田さんは「わずかと
はいえ期待を持っている。
可能性がないなら調べな
い」と望みを託す。野田さ
んは「いたら面白い。夢が
ある」と話している。
ニホンオオカミに詳しい
東京農工大の丸山直樹名誉
教授(野生動物保護学)は
「ニホンオオカミの足裏は
一般的に犬に比べて大き
い。足跡を測ればすぐ分か
る」といい、両町での生存
に否定的な見方を示した。

松阪にニホンオオカミ?

化血研の承認外製造と
隠蔽(いんぺい)の構図



乾燥濃縮人アンチトロン
ビンⅢ▽人免疫グロブリン
▽トロンビン▽人血清アル
ブミン▽抗HBS人免疫グ
ロブリン(抗HBS抗体)
▽抗破傷風人免疫グロブリン
(破傷風抗毒素)▽沈降
シフテリア破傷風混合トキ
ソイド▽沈降破傷風トキシ
ド
くとも九五年以降、国の定
期査察に虚偽の記録を示し
不正を隠した。
化血研は無届けでボツリ
ヌス毒素を運搬していた問
題も表面化しており、厚生
省は八日、改善指示を出し
手順書の整備などを求め
た。

トヨタ、3倍の年2000

トヨタ自動車は燃料電池
車(FCEV)「ミライ」の
一日当たりの生産台数を一
月から、従来の三倍となる
九台に増やしたことが分か
った。トヨタはこれまで、
年七百台だったミライの生
産能力を、二〇一六年中に
年二千台程度に引き上げる
としていた。想定を上回る
国内受注や海外輸出に対応
するため、従来の昼間に加
え、夜間も開
産態勢を年初
一四年十二
量産FCEVと
ミライは、国内
販売目標の四百
上回る二千台超
かし、新技術
のために通常
とは異なり、熟
手作業で組み立
一日三台に限ら
増産に向けて
心臓部に当たる
燃料電池スタック
貯蔵タンクを造
(愛知県豊田市)
を拡張。車両を
元町工場(同)の
倍の三十人に増
トヨタはミライ
力を一七年には

Hagoromo
天女の舞いの削りぶし
はじろも舞
新パッケージ